

令和6年6月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和6年6月27日（木）午後2時00分開会
午後3時27分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第24号から議案第27号
日程第7 協議及び報告事項 協議第3号
報告第20号から報告第21号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中野文雄	4番	三木尚美
5番	中村勇人		

○説明のため出席した者（11名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部担当部長	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	学校再編課長	上野樹
教育総務課担当課長	久保修一	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	出藏裕昭
学校給食課長	小東敏郎	幼児教育振興課長	藤田崇宏
幼児教育振興課係長	辰巳武人		

○代表学校長（1名）

小学校校長会代表 松下 修

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 石野寛人
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 中 野 文 雄

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和6年6月第307回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、議案第25号「職員の分限処分について」は特定の個人情報を含んでいるため、また、議案第26号「三田市立認定こども園条例(令和5年三田市条例第27号)の一部を改正する条例の制定に係る原案の決定について」、議案第27号「三田市立認定こども園条例施行規則(令和5年三田市教育委員会規則第8号)の一部を改正する規則の制定について」は、未確定の情報を含んでいるため非公開とし、全ての議事、協議及び報告等が終了した後に審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、議案第25号、議案第26号、議案第27号は非公開とすることといたします。

日程第2 前回国議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回国議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和6年5月29日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、3番 中野文雄 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和6年6月27日木曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

今年の梅雨入りは例年より非常に遅く、ようやく先週末に梅雨入りの発表がありました。梅雨に入ってからそれほど雨が降っていないように感じます。蒸し暑い日が続く中、スマートフォンのLINEにも環境省からの熱中症アラートが届くようになりました。今後も、暑さ対策には十分気をつけて行きたいと思えます。この時期の作物にとっては必要な雨ですが、極端な大雨は遠慮願いたいところです。学校園が臨時休業とならないことを祈っています。
では、前回の定例会以降の私の活動について報告いたします。

1) 兵庫県都市教育長協議会(5/29)

5月29日午後から朝来市で開催されました。本年度1回目の会議で、県への要望事項の確認と、不登校対策と中学校部活動の地域移行の2点について意見交換をしました。

不登校対策については、今年度県のサポーター配置への支援もあり、ほとんどの市が中学校全校、小学校4校に1校の割合で設置予定でした。一部には市単独で配置校を増やしたり配置時間を延ばしたりしているところもありましたが、おおむね計画通りの設置となっています。三田市も当該サポーターはすでに配置済みです。

一方、部活動の地域移行については、なかなか進んでおらず、各市とも苦慮されているとのことでした。三田市と同様、担当が教育委員会ではなく、ほとんどが市長部局であることから、地域の受け皿をどのように作るか、取組に温度差があるようです。また、中学校体育連盟の規程との関係で、大

会参加が難しいことや、中には、中学校体育連盟の大会ではなく、地域クラブとしての大会のみ見据えているところもありました。令和8年に向けて、今後も難航しそうです。

2) 第9回三田マダン(6/2)

6月2日の日曜日、郷の音ホールの駐車場と野外ステージで、第9回三田マダンが開催されました。コロナ禍が明け、ようやく以前と同じ野外ステージや様々な国の料理の屋台などが出ており、にぎやかな広場で昼食を美味しくいただきました。「マダン」とは韓国朝鮮語で「広場」という意味ですが、様々な国をルーツに持つ人々が、心豊かに共に生きていく三田をめざして活動されています。現在、学校でも外国からの子どもたちが増加しています。多文化共生という意味で、学校教育の果たす役割も重要であると思っています。

3) 第74回社会を明るくする運動三田市推進委員会(6/18)

6月18日、総合福祉保健センターで社会を明るくする運動三田市推進委員会が開催され、出席しました。三田市保護司会の皆さんを中心に、市内の関係機関の参加による委員会です。犯罪や非行を防止し、立ち直りを地域で支えていこうとするもので、教育委員会、小中学校の校長会等の子ども関係の組織やその他団体で構成されています。保護司についてはあってはならない悲しい事件も発生したばかりですが、これからの明るい三田とするため、地域全体で取り組んでいかなければならないと思っています。

4) 三田国際マスタースマラソン実行委員会(6/19)

6月19日、市役所で本年度のマスタースマラソンについての実行委員会が開催されました。一昨年、昨年度と開催されましたが、コロナによる中断もあり、参加者は大幅に減少しているのが現状です。本年度は、12月15日の日曜日に開催される予定です。ハーフマラソンとともに、2キロのファンランも行われます。大会会場は郷の音ホールとなりますが、スタートはこれまでと同様、三田保育所前の県道黒石三田線上となります。多くのランナーの参加を期待しています。

5) 兵庫県立三田祥雲館高等学校SSH(スーパーサイエンスハイスクール)運営指導委員会(6/24)

6月24日、三田祥雲館高校で本年度第1回SSHが開催され、運営指導委員として参加しました。

令和4年度から3期目のスーパーサイエンスハイスクールとして指定を受け、本年度折り返しの年となります。中間評価に向けて、その取組の計画を説明いただいた中で、昨年度末のロボカップ・ジュニアジャパンの全国大会で、科学部のロボティクス班の2チームが2位、3位の成績を収め、来月7月にオランダのアイントホーフェンで行われる「ロボカップ2024世界大会」に出場します。そのサッカーロボットの実演を見せていただきました。三田祥雲館高校のロボティクス班のサッカーロボットは、これまでサイエンスフェスティバルでも見ていましたが、本番にあわせてすべて英語で説明し、委員からの英語の質問に英語で応えていました。すごいことです。

三田祥雲館高校へは毎年、100人以上が三田の中学校から入学しており、この科学部の活動を始め、SSHとしての探究活動に取り組んでいます。このような環境で学びを深めることが出来る高校があることを、三田の強みとしていきたいと思っています。

6) 6月市議会定例会

最後は6月の定例市議会です。5月24日に開会した6月市議会の一般質問が6月7日、10日、11日の3日間あり、教育委員会へは、4人の議員が5つの項目で質問されました。今回は非常に少なく、答弁作成もスムーズでありました。発達障害に関すること、三田の特色を生かした教育の推進、学校の働き方改革、不登校対策、給食センターの建て替えの5項目です。詳細はのちほどご報告いたします。また、11日には前回の定例会で承認いただいた三輪小学校の改修工事の契約案件の説明、13日には補正予算案と契約案件の2度目の質疑がありました。

そして最終日24日、教育委員の人事案件として、中村委員に代わり、新しくルーベッシュ裕子さんの承認議決を受け、すべての議案を議決いただき6月定例市議会を終えました。中村委員には、昨年12月から教育委員としてお世話になり、保護者代表として多くのご意見もいただきましたが、本年4月から職務上の立場も変わられ、お仕事と教育委員としての活動で日程調整等ご苦勞をおかけしました。これからも教育委員として三田の教育へのご支援をいただきましたかったところですが、残念です。中村委員の任期は今月末までとなり

ます。これまで、どうもありがとうございました。
私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1)学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第1号関係】

議案第24号「『三田市在住外国人教育基本方針』の改定について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

議案第24号「『三田市在住外国人教育基本方針』の改定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

以前の基本方針が人権教育の柱としてあり、今回は文言等を整理して改定されたということですが、あくまで改定であり、基にあるものを風化させてはいけないと感じます。この基本方針がなぜ存在するのか、策定される背景にあるものを学校にはきちんと理解していただきたいと思います。また、教育委員会として、この基本方針をどのように学校現場に浸透させ、どのように活用していくべきと考えているのか教えてください。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

基にある基本方針が、三田市の外国人教育の柱であり、どの学校でも啓発資料として使用していました。その理念を踏まえ、今回あらたに改定されたものですが、これまでの理念を今後も継承していくことが大事であると考えています。次回の校長会でも、その点については丁寧に説明をします。また、今後は担当者への研修の中で、策定の背景にある事案も含め、これまでの経緯や、それ以降の取組についても説明していきます。基本方針は、各先生のタブレットにデジタル版としても配布し、いつでも閲覧可能な状態で活用いただけた

らと思います。

○教育委員
(中野 文雄)

三田市にとって、今回の改定があらたなスタートとなり、外国人教育を大切に考える良い機会だと思います。各学校で今回の改定の趣旨と経緯を十分理解し、本基本方針がすべての教育活動におけるスタンダードとして、市内のどの学校でも同じように外国人教育を進めていただけることを願っています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

次の議案第25号、26号、27号につきましては冒頭でお伝えしましたとおり非公開となりますので、後ほど審議いたします。

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして協議及び報告事項に移ります。
協議第3号「三田市居住環境等保全審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

協議第3号「三田市居住環境等保全審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明
事務局案としましては7月に就任されます新任委員のルーベッシュさんで決定したいと思います。事前にご本人には、前任の方の任期残り1か月をお願いして承諾をいただいております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

先日、市議会にて承認されました新任委員（7月1日就任）のルーベッシュさんに7月の1か月を担っていただくこととなります。
何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第20号「第376回定例市議会(6月定例会)一般質問について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育部長
(浅野 晋司)

報告第20号「第376回定例市議会(6月定例会)一般質問について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

発達障害に対する質問について、三田市では特別支援教育サポートセンターを設置していただいているので、本人や保護者にとって手厚いサポートを受けられるのは大変良いことだと思います。そこで受ける相談等について、相談を受けた後は、どのように学校現場に情報共有していただいていますか。

○教育支援課長
(市原 敦)

教育委員会内に設置しています特別支援教育サポートセンターへの電話相談や面接相談、また、そのお子さまの段階に応じて必要と判断されれば学校への訪問もさせていただき、情報提供を行い、支援に繋がっています。学校現場の先生方へは、月に一度の校内支援委員会で、対象のお子さんについて情報提供し、必要な支援等について把握する機会を設けています。また、新任の先生には発達障害に対する理解を深めていただく研修を行い、資質向上に努めています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

不登校児童生徒への対応として校内サポートルームの設置に向けて環境を整えていただいています。今後どのように市として推進していこうと考えておられるのか教えてください。

○学校教育部長
(浅野 晋司)

現在、児童生徒一人一人に対応するための別室指導を行っています。予算もついていますので、今後は各校へヒアリング

を行い、各校の状況に応じた環境整備に努めてまいります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見、ご質問等ございますか。
ないようでしたらこのように報告いたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第21号「7月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第21号「7月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、7月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、7月の教育委員会定例会の日程について事務局
からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

7月教育委員会定例会の開催日時は令和6年7月29日
(月)午前10時00分から、南分館601会議室で予定し
ております。よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
本日、中学校代表校長は欠席されていますので、小学校代表
校長より報告をお願いいたします。

○小学校校長代表
(松下 修)

○小学校長会について
6月の校長会においては、令和7年度にむけて、学校におけ
る重点課題等について意見交流を行いました。特に、現在、

学校経営上大きな課題となってきた不登校対策や教室に入ることが難しい児童への対応、サポートルームの経営についてアンケートをとり意見交換を行いました。本年度はサポートルームの指導員である子どものサポーターを拡充していただきました。配置された学校については、不登校児童にとって、決まった時間に決まった先生が来ることで、心の安定につながっているという報告がありました。

一方、配置されていない学校で、現在、日常的に別室登校が行われている学校では、養護教諭、専科の時間で空いている教員、管理職がシフトを組み、子どもが少しでも学校という社会に集団適応できるよう、工夫している取組についても意見交換を行いました。教員の週の持ち時間が増加する先生も出てきているなどの課題もありますが、まずは今困っている子どもに向き合うことに待ったはなしです。引き続き、小学校長会として、誰一人取り残さない教育の実現に向け努めてまいります。

先日、久保担当課長より、本年度の保護者向け、教職員の勤務時間適正化に向けた取組について説明がありました。一部の小学校では、保護者から「仕事が終わるのが18時なのに、学校に連絡がとれない」などと声が上がっている中、教育委員会から保護者へ、教職員の勤務の実態を伝えていただくことは、私たちにとっても説明がしやすくなります。小学校長会としても、勤務時間適正化だけでなく、保護者の不安解消とともに、教職の魅力や魅力を常に発信し、やりがいがあり、教職員の健康及び福祉の確保できる職場づくりに努めてまいります。

最後に、本年度の学校訪問の方法について、1学期は資料の準備が簡素化され、管理職と教育委員の皆様との懇談会を中心にと変更されました。このことについては、負担軽減につながったことに併せて、学校の課題を再確認するために有効であったと意見が出ております。今後も、学校訪問でいただいた意見が、学校経営に役立てられるよう努めてまいりたいと考えております。

○6月の学校の様子について

梅雨に入るのが遅く、中旬まで暑さがきびしく、熱中症対策を行いながら教育活動を行っています。こまめな水分補給、外での帽子の着用の徹底は勿論のこと、朝から管理職と養護教諭で環境省の「環境省の熱中症予防情報サイト」を確認し、外での教育活動の制限について検討しています。暑さに

よる事故がないよう、細心の注意を払って対応をしております。

また各中学校区では、小中が一貫した教育の推進に向け、具体的な取組が始まった校区も出てきております。本校は、先週の21日に一日、小学校の教員が都合のつける時間に中学校の授業見学にいきました。また8月には、中学校にあり、小学校にない進路指導の現状について、小中合同で理解を深める研修を実施します。小中が一貫した教育をすすめるためには、文書のみならず、校種を超えた教員の交流と卒業後の進路について、小学校の理解を深めることが重要だと考えております。

本校と富士小の民間での水泳指導ですが、泳力は勿論のこと、1年生の水慣れについても、民間の指導者のスキルの高さから学ぶことも多く、例年に比べ、子どもたちも水泳の時間への期待が高まっています。また弥生小学校の子どもが富士小学校の子どもを応援したり、その逆があったり、時には一緒に怒られたり、その中で名前を覚えたりということを見ておりますと、交流においても有効であり、子どもは、多くの仲間にふれあい、多くの刺激を受けることが大切と再確認しました。また、3年生において、本校には歴史的な仏閣などがないことを知った富士小校区の地域の方から、熊野神社の見学へ誘っていただくなど、小中が一貫した教育を進めていくうえでも、小小連携の充実も図っていきたいと考えております。

最後に、長期休業期間まであとひと月足らずです。1学期のまとめ、振り返りを行い、子どもの成長につなげていきたいと考えております。

○中学校代表校長
(鯉ノ内 克枝)
※学校教育課長代
読

○修学旅行について

6月初旬までに市内すべての中学校で3年生の修学旅行が無事実施できましたことをご報告させていただきます。自分たちの手で作り上げようとする生徒たちの思い、成し遂げることで成功体験をさせたいと願う教員の思いが重なり、どの学校の修学旅行も素晴らしいものになったと聞いています。どの中学校も、生徒による実行委員会を中心に、目標を定め、ルールやマナーについて考え、現地ではお互いに声を掛け合いながら取り組むことができました。

長崎や沖縄を訪れ、実際に話を聞いたり、現地を歩いたりする中で、平和の大切さを学び守り続ける思いをあらたにした

ようです。自然に親しみ豊かな心を養ったり、班別行動を通して仲間との絆を深めたり、また、多くの学校で実に5年ぶりに民泊を実施し現地の方々との交流を深めたりするなど、心に残る旅行となり、みんなが元気に笑顔で帰校できましたことを大変うれしく思います。

○トライやる・ウィーク

2年生は昨年度から事業所選定など準備をしてきたトライやる・ウィークを、5月27日から31日と、6月3日から7日の2週に分け、それぞれ4校ずつ実施しました。受入れ事業所数が年々減少しており、生徒が希望の活動に参加することが難しくなっています。しかし、どの事業所でも様々な準備をしてくださり、生徒たちもいろいろなことを吸収しようと懸命に、また生き生きと活動できたようです。5日間の活動を終えて学校に登校してきた生徒の姿や言動からは成長が感じられ、それぞれ貴重な体験をさせていただき多くの学びがあったことが分かりました。「トライやる・ウィーク」の趣旨を理解し、受け入れていただいた事業所や指導ボランティアの方々はもちろんのこと、事前打ち合わせに奔走していただいた地域推進委員の皆様、初めてのことに戸惑いながら過ごす生徒たちを見守り励ましていただいた保護者の皆様、すべての方からの温かいご支援があったからこそ、意義のある活動になったと感謝しております。

○わくわくオーケストラ教室

1年生は、県立芸術文化センターでオーケストラの生演奏を鑑賞します「わくわくオーケストラ教室」に、本校を含め3校が参加しました。保護者や関係者の皆様のご理解やご支援のおかげで、楽しく良い校外学習がどの学年もできましたことに感謝しております。なお、各行事につきましては、その様子をメールや学校ホームページ、学校だよりや学年通信などに掲載し、保護者の皆様に喜んでいただきました。また、報告会を今後予定している学校もあります。

どの学校も期末考査が終わり、いよいよ運動部の3年生にとって集大成の大会となる三田市総合体育大会が迫り、生徒たちは全力で部活動に取り組んでいます。陸上競技部はすでに終了し、丹有大会に向け努力を続けていますが、他のすべての運動部の試合が6月29日、30日を中心に市内各所で行われます。保護者の皆様や多くの関係者の方の応援をいただき、生徒たちがいつも以上の力を発揮し一人一人が輝いてく

れることを心から願っています。

1学期も残すところ1か月足らずとなりました。今後は、情報モラル教室や、薬物乱用防止講演会などの防犯教室を実施するなど、夏休みに向けた指導を各校で行う予定です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それでは引き続き非公開議案についての審議に入ります。ここからは事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。